

(3) ②様式第3号-2 (報告書)

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名 茨城県教育研修センター
コラボ研修プログラム	事業名：Online グローバル・スタディーズ
支援事業報告書	研修等名：【NITS・茨城県教育研修センターコラボ研修】 Online グローバル・スタディーズ ～世界ではばたく 未来の担い手を育むために～
	開催日時：第1回 令和5年11月24日 第2回 令和5年12月19日 第3回 令和6年1月23日 開催場所：Zoomを用いたのオンライン開催、茨城県教育研修センター（笠間市平町 1410） 参加人数（延人数）と参加者の属性：（64人）茨城県内の教職員 60人、大学生 3人、JICA 職員 1人

**内容：**

ビデオ会議システム（Zoom）を使って、持続可能な社会の実現に向けて活動する国内外の人々とながり、地球環境や貧困問題、多文化共生等について学ぶ研修を行った。海外とのオンライン接続の様子を動画として残し、受講者が授業で活用できるようにした。各回のテーマと講師、主な内容は以下の通り。

第1回 「ルワンダとつながり考える農業と海外起業」

講師：RWA MITTU LTD. 代表 木下 一穂

ルワンダの農業法人や現地の農業高校とのオンライン接続により、現地の生活の様子を学んだ。その後、貧困問題や環境問題について問いをもち対話を進めた。学生へのインタビューから、ルワンダの高校生の夢や世界観などを知り、地球的課題について理解を深めた。

第2回 「フィリピンとつながり考える教育と福祉」

講師：認定NPO法人CFJジャパン 内海 研治 木村 実咲

フィリピンの福祉施設「子どもの家」とのオンライン接続により、現地の生活の様子を学んだ。その後、貧困問題や福祉支援について問いをもち対話を進めた。現地の子どもたちやソーシャルワーカーとの交流から、多様な環境における「幸福」について考え、地球的課題についての理解を深めた。

第3回 「カンボジアとつながり考える学校保健と国際協力」

講師：東京学芸大学 学校保健プロジェクトプロジェクトコーディネーター 増子 夕夏

カンボジアの国際協力団体や教員養成大学とのオンライン接続により、現地の社会の仕組みや学校保健について学んだ。その後、貧困問題や保健衛生の向上について問いをもち対話を進めた。教育や保健衛生の分野で国際協力する講師の姿に触れ、国際協力について理解を深めた。

**成果：**

- ・茨城県内の教員及び大学生を対象に受講者を募集し、64人（延人数）がオンライン研修に参加  
第1回：23人、第2回：26人、第3回：15人

・受講者からの意見

子どもたちの未来がより良いものになるように、世界の現状を知り、伝え広め、できることをしなければというエネルギーをもらった。日々の授業の中で、目の前の子どもたちに伝えていきたい。

異文化交流を机上の空論にせず、人と人のつながりを大切にすることが、よりよいグローバル社会を築いていくことにつながると感じた。自分が感じたことを、生徒と共有し、話し合っていきたい。

世界で活躍する方々とオンラインでつながることで、目の前の子どもたちが世界中で活躍する未来の姿が思い浮かんだ。子どもたちに動画を共有し、世界やそこで働く人々の思いを感じさせていきたい。

**アイデアや工夫したこと：**

- ・JICA 筑波との連携により、海外の起業家やNPO法人に講師依頼
- ・開催期日の綿密な調整により、現地の子どもたちとのオンライン交流を可能にする。
- ・問いの工夫と対話の場の設定により、地球的課題についての深い考察を促進する。  
例）「兵士になりたいと話す子どもにどんな関わり方をするか」、「なぜカンボジアで学校保健が大切か」
- ・研修動画の共有により、多くの学校で活用可能にする。

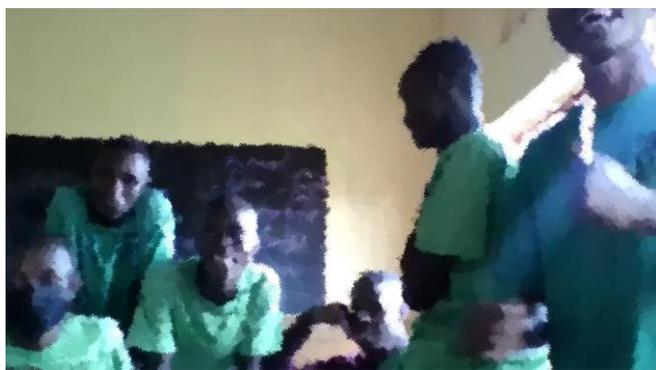
<写真・図など>



【第1回 ルワンダとつながり考える農業と海外起業】  
イントロダクションでの目的の共有



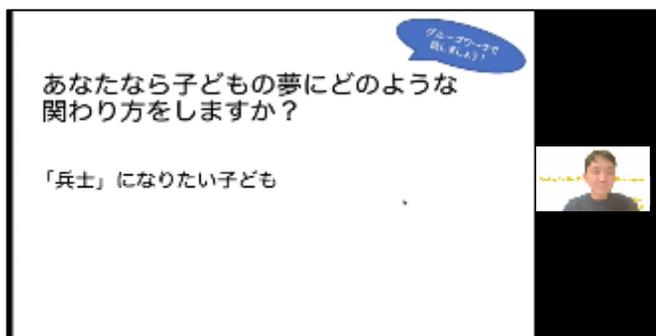
【第1回 ルワンダとつながり考える農業と海外起業】  
循環型農業に関する講義



【第1回 ルワンダとつながり考える農業と海外起業】  
ルワンダの高校生とのオンライン交流※画像処理済



【第2回 フィリピンとつながり考える教育と福祉】  
フィリピンからの現地レポート



【第2回 フィリピンとつながり考える教育と福祉】  
受講者の理解を深める問い



【第2回 フィリピンとつながり考える教育と福祉】  
子どもたちからの歌のプレゼント※画像処理済



【第3回 カンボジアとつながり考える学校保健と国際協力】  
JICA 職員によるイラン文化の紹介



【第3回 カンボジアとつながり考える学校保健と国際協力】  
思いを共有する受講者